

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名		給食費徴収事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	花田 秀樹・秋吉 秀美
	施策の柱	35	食育の推進			所属班	学校給食班	(内線)	2224
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	学校給食費口座振替事務取扱要綱 学校給食費口座振替に係る個人情報等	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
			10	6	3	11567			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内小中学校児童・生徒の学校給食費を口座振替により徴収する。また、振替不能者に対しては滞納整理を行う。
【業務の流れ】	①4月に小学校新1年生及び転入生から口座振替依頼書の提出→全児童・生徒の口座登録完了→金額の入力→収納代行業社へ口座振替依頼。②5月より口座振替開始(4.5月分を5月に振替、翌年2月までの11ヶ月) ※滞納者については、電話及び訪問による督促等により適宜滞納整理を行う。
【主な予算費目】	時間外勤務手当、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	市内小中学校児童・生徒の学校給食費を口座振替により徴収した。また、振替不能者に対しては滞納整理を行った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		小学校新1年生及び転入生の口座登録を完了し、学校給食費の口座振替を行う。また、滞納者への督促、催告、戸別訪問等の滞納整理を強化する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 ア: 新入生・転入生 (A) の内、口座振替登録を行わない者 (B) の数	予算の主な増減の理由 窓開き封筒を作成しないことによる印刷製本費の減額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等保護者		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)円 ア: 滞納額 (B)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 給食費納入の利便性の向上による徴収率の向上		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)世帯 ア: 滞納者世帯数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 滞納者が増加する傾向にあることから設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
①活動指標	人		877	917	888	888	914	914	914	914	
②対象指標	円		77,476	67,750	0	517,212	0	0	0	0	
③成果指標	世帯		2	2	0	20	0	0	0	0	
投資入量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	269	257	239	204	228	228	228	228
		(A) 事業費計	千円	269	257	239	204	228	228	228	228
		(A)のうち指定経費	千円	169	107	136	104	126	126	126	126
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	169	107	136	104	126	126	126	126
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間		時間	2,500	2,500	2,500	2,430	2,500	2,500	2,500	2,500	
(B) 人件費計		千円	9,282	0	9,960	9,613	9,960	9,960	9,960	9,960	
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,551	257	10,199	9,817	10,188	10,188	10,188	10,188	

事務事業名	給食費徴収事業	所属部	教育部	所属課	学校教育課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 滞納世帯に対し電話及び文書による催告、訪問による督促等を行ったが、一部の世帯について完納に至らなかった。今後も督促を継続する。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 保護者の生活様式（就労時間）の多様化で連絡が取りにくくなっている世帯もあるため、学校とも情報交換しながら督促を継続強化する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 滞納者への催告・督促等をさらに強化する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 小・中学校の給食費なので類似事業との統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 保護者への未納通知や滞納整理のために必要な事業費なので削除余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 給食費は、小中学校の児童・生徒の食材費のみであるので公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、給食費の完全納入にむけて保護者への連絡や督促を強化する。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						